

『認め 支え合い レジリエンスを高める』

藤枝市立葉梨中学校

月別	ピア・サポート活動 ピア・サポートを中心に据えた行事	プログラム	職員研修
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生歓迎会、団決め集会 ・ピア・サポートエンカウンター <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">あいさつ運動（生徒会総務）</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・縦割りの集団で創り上げていくための団を決める。 ・人間関係作りの土台を築く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピア・サポート活動の意義や共通理解 ・レジリエンス研修
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・学年行事 1年 地域探訪 2年 防災学習 3年 修学旅行 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間の良さを発見したり、お互いを認めたりするために、グループ活動を取り入れる。 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなのレジリエンスをのぼそう！ ・合唱交歓会 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の考え方や状況の捉え方を多面的に考える活動 ・団別歌おう活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・レジリエンス研修（理論の確認と活動の振り返り）
7月			
8月			<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・結団式 	<ul style="list-style-type: none"> ・団の目標（スローガン）の共通理解 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・体育祭 	<ul style="list-style-type: none"> ・団別や学級別の種目練習を通して、縦割りや学級内のつながりや関わり方を高める。 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・文化発表会 ・はな＊はな読み聞かせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・縦割りによる交歓合唱や学級合唱づくり ・中学生有志による校区小学生への読み聞かせ 	
12月			
1月			<ul style="list-style-type: none"> ・レジリエンス研修
2月			<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程編成会議（成果、課題、計画）
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイナルコンサート ・3年生を送る会 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の振り返りと感謝を伝え合う。 	

1 本校のピア・サポート

仲間を思いやり、支え合う学校風土を創っていくため、日々の生活・授業・行事・縦割り活動等を通して、日頃から「支え合い」や「関わり合い」の意識をもつことを目指す。今年度の重点目標である「自ら 考え 示す」との関連性を大切にし、一緒に生活する仲間が気持ちよく生活できるようにするためには、どのような行動や言動が望ましいかを常に「自ら 考え 示す」という思いも込めた活動としていく。また、精神的回復力や立ち直り力を育てるために、レジリエンス研修と授業での実践を取り入れ、しなやかに生きる力を高める。

2 特徴的な活動

○ピア・サポートエンカウンター（学年、学級ごと）〈提言3〉

4月当初に、ピア・サポート活動の第1歩として、周囲との関係を築く「人間関係作り」を行った。学年または学級ごと独自のアイスブレイクを行い、シチュエーションクイズと題して、いくつかのシチュエーションの中で、自分ならどのように考え、行動するかを考え、小集団で意見交換をした。この活動は、物事の捉え方と感情のつながりや角度を変えて考えるレジリエンスの授業にもつながっていった。

○みんなのレジリエンスをのぼそう！（学級ごと）〈提言1・4・5〉

静岡大学の小林先生を講師に招き、生徒と職員を対象にレジリエンスの研修を行った。4月には、職員向けに本校生徒の特徴や実態把握、レジリエンスの定義や方向性、レジリエンスを育てる6つのコツなどに関する研修を実施した。研修を受けて、あいさつや規則正しい生活習慣を促す生活指導、目標設定と振り返りを意識した授業など学級独自の実践を積み重ねた。6月には、小林先生による全校レジリエンス研修を行い、物事の捉え方を変え、その時に起こる感情とその後の行動が変わっていくことを学んだ。



○はな*はな読み聞かせ〈提言8〉

小中連携の一貫として、有志の中学生が校区の小学校に赴き、小学生に読み聞かせの活動を通して、思いやりの心を養うことをねらいとして活動に取り組んだ。32人の中学生が小学校の各クラスに行き、絵本の読み聞かせを行った。小学生にとっては、身近で憧れの存在である中学生が本を読んでもくれる喜びを感じ、中学生にとっては、本を自分の担当する学年学級に合った本選びから始まり、読み方や関わり方などの学びにつながり、双方にとって意義のある活動となった。



3 本年度の成果と来年度に向けて

小集団による話し合いや意見交換、学年や縦割りなど大きな集団での活動が少しずつできるようになり、今年度も学校全体として温かく、活気があふれる活動を積み上げていくことができた。一方で、自尊感情や対人関係スキルの低下など、コロナ禍により助長された課題を改善するために、今後もレジリエンスを高める活動に取り組み、責任ある思いやりの心としなやかな心の醸成を図っていききたい。